

日本歴史に登場する主要人物

① (1~10)

- 1 邪馬台国の女王で、魏に使いを送った。
- 2 高句麗の王。4世紀の終わり頃、倭と戦ったことが碑文に書かれている。
- 3 稲荷山古墳出土の鉄剣にその名があり、雄略天皇と考えられている。
- 4 推古天皇の摂政となり、十七条の憲法を制定し、法隆寺を建てた。
- 5 遣隋使として、隋に派遣された。
- 6 大化の改新を行い、のちに即位して天智天皇となった。
- 7 大化の改新の中心人物で、のちに藤原の姓をうけた。
- 8 壬申の乱に勝って天皇となった。その天皇の名は。
- 9 上の8の天皇の皇后で、奈良盆地の南部に藤原京をきずいた。
- 10 この天皇の古墳といわれているものは大阪府堺市にあり世界最大の広さをもつ。

② (11~20)

- 11 大和国の豪族。蝦夷の子で、大化の改新のさい、殺された。
- 12 唐の名僧。5度の失敗をのりこえて来日、律宗をひろめる。唐招提寺を開いた。
- 13 万葉歌人。「貧窮問答歌」を代表作として、生活を歌った。
- 14 奈良時代、皇室に取り入って権力を握り、政治に介入した僧。
- 15 聖武天皇のきさき。仏教を信仰、施薬院・悲田院をつくる。
- 16 710年、都を平城京に移した女帝。和同開珎がつくられた。
- 17 国ごとに国分寺・国分尼寺を建て、都に東大寺を建てた。
- 18 諸国をまわって道や橋をつくった僧で、東大寺の大仏造営にも協力した。
- 19 留学生として唐に渡り、帰国できずに一生を唐で過ごした。
- 20 794年、平安京に都を移し、律令政治の立て直しを行った。

③ (21~30)

- 21 平安京に都を移した人物により征夷大將軍に任命され、東北地方の蝦夷と戦った。
- 22 伝教大師。比叡山に延暦寺を建て、天台宗をひろめる。
- 23 弘法大師。高野山に金剛峰寺を建て、真言宗をひろめる。
- 24 文人政治家。遣唐使の廃止を提言する。太宰府に流される。
- 25 関東地方の武士で、935年に反乱を起こし、一時は関東全域を支配した。
- 26 伊予国の役人。海賊を率いて西国を荒らしまわった。
- 27 11世紀の初め、摂関政治を行い全盛期をきずく。法成寺。
- 28 「源氏物語」を著し、貴族の生活をえがいた。
- 29 女流文学者。和漢の学にすぐれ、随筆「枕草子」を著した。
- 30 「古今和歌集」の撰者。かな文字で「土佐日記」を著した。

④ (31~40)

- 31 1086年。上皇になって院庁で政治をとり、院政をはじめる。
- 32 為義の子で、頼朝の父。平治の乱で平清盛に敗れ殺された。
- 33 父・道長と藤原氏の全盛期をきずく。平等院鳳凰堂を建てる。
- 34 前九年の役・後三年の役をしずめて、源氏の名声をあげる。
- 35 武士としてはじめて太政大臣となる。日宋貿易をはじめる。
- 36 1192年に、鎌倉に幕府を開いた。
- 37 鎌倉に幕府を開いた人の妻、夫の死後、尼将軍とよばれ、政治の実権をにぎった。
- 38 平家一族をほろぼす。兄・頼朝と対立して東北にのがれる。
- 39 3代将軍。「金槐和歌集」を著す。八幡宮で殺された。
- 40 3代の執権。貞永式目（御成敗式目）をつくり、執権政治の基礎も確立。

⑤ (41~50)

- 41 8代の執権。元寇で元軍を撃退。鎌倉に円覚寺を建てる。
- 42 1221年、承久の乱をおこしたが、破れ、隠岐島へ流された。
- 43 歌聖。藤原俊成の子で、「新古今和歌集」を編さんする。
- 44 平安末期から鎌倉時代の歌人。随筆「方丈記」を書いた。
- 45 役人から僧侶となり、和歌をよみ、随筆「徒然草」を書く。
- 46 イタリアの商人で元のフビライに仕え、「東方見聞録」をかいた。
- 47 快慶とともに東大寺南大門の金剛力士像をつくった。
- 48 法華宗をひらく。南無妙法蓮華経と題目を唱える。
- 49 禅僧。宋から臨済宗と茶を伝える。京都に建仁寺を建てる。
- 50 禅僧。宋から帰り曹洞宗を伝える。福井に永平寺を建てる。

⑥ (51~60)

- 51 浄土宗をひらく。南無阿弥陀仏を唱えれば救われると説く。
- 52 浄土真宗（一向宗）をひらく。法然の弟子で、念仏を説く。
- 53 建武の新政を行ったが2年で失敗し、吉野にのがれて南朝をたてた。
- 54 河内（大阪府）の豪族。倒幕計画に加わり、尊氏に破れる。
- 55 上野（群馬県）の豪族。鎌倉を攻め、北条氏をほろぼす。
- 56 建武の新政を行った人物を京都から追い出し、室町幕府を開いた。
- 57 室町幕府の三代将軍で、南北朝を統一し、勘合貿易を始め、金閣をたてた。
- 58 室町幕府の八代将軍で、京都の東山に銀閣を建てた。
- 59 室町幕府三代将軍の保護を受けて、父とともに能楽を大成した。
- 60 イエズス会の宣教師で、鹿児島に来て日本に初めてキリスト教を伝えた。

⑦ (61~70)

- 61 甲斐の戦国大名で、川中島の戦いで上杉謙信とたびたび戦った。
- 62 安土の城下町で楽市・楽座を行った。本能寺で明智光秀にほろぼされた。
- 63 禅宗の僧で水墨画家。明に留学して絵を学び水墨画を大成。
- 64 越後（新潟県）の戦国大名。信玄と川中島で何年も戦う。
- 65 駿河（静岡県）の戦国大名。桶狭間の戦いで信長に破れる。
- 66 室町幕府15代将軍。1573年、信長に京都を追われ、幕府はほろびる。
- 67 信玄の子。長篠の戦いで織田・徳川の連合鉄砲隊に破れる。
- 68 仙台藩の初代藩主。片目の武将なので独眼竜とよばれた。
- 69 1590年全国を統一。刀狩・太閤検地・朝鮮出兵などを行う。
- 70 信長の家臣。1582年、信長にそむいて本能寺で信長を討つ。

⑧ (71~80)

- 71 狩野派を代表する障壁画家。「唐獅子図屏風」が代表作。
- 72 千家流の開祖。堺の商人で茶道を大成し、諸大名に教えた。
- 73 1600年、関ヶ原の戦いの西軍の総大将。徳川家康に破れる。
- 74 関ヶ原の戦いに勝って、1603年に江戸幕府を開いた。
- 75 参勤交代の制度を整え、鎖国を完成させた。
- 76 キリスト教徒や農民を率いて島原の乱を起こした。
- 77 江戸幕府の五代将軍で、生類憐みの令を出した。この頃元禄文化が栄える。
- 78 元禄文化で活やくした浮世草子の作家で、「日本永代蔵」などを著した。
- 79 朱子学者で、正徳の治を行った。また、「西洋紀聞」などを著した。
- 80 江戸幕府の八代将軍で、享保の改革を行い、公事方御定書を制定する。米将軍。

⑨ (81~90)

- 81 老中として商人の力を利用して政治をすすめたが、わいろ政治と批判された。
- 82 江戸幕府八代将軍の人物の孫で、白河藩主であった。寛政の改革を行った。
- 83 17世紀前半にシャムにわたり、日本町の頭として活躍。
- 84 俳人。俳諧を芸術として完成。代表作「奥の細道」。
- 85 浄瑠璃作家。町人の生活を義理と人情の二面からえがく。
- 86 蘭学者。「番薯考」を著し、サツマイモの栽培をひろめる。
- 87 江戸南町奉行。公事方御定書をまとめる。
- 88 俳人で画家。のち正岡子規に大きな影きょうをあたえた。
- 89 俳人。庶民的な句が多い。句集に「おらが春」がある。
- 90 国学者。「古事記伝」を著し、国学を大成する。伊勢松阪出身。

⑩ (91～100)

- 91 蘭学者。前野良沢とともに翻訳「解体新書」を著す。
- 92 自然科学者・発明家・画家・小説家。エレキテル。
- 93 地理学者。全国を測量し、日本最初の実測地図をつくる。
- 94 農政家。通称金次郎。徹底した勤勉と儉約をすすめた。
- 95 浮世絵画家。風景版画の「富嶽三十六景」が代表作。
- 96 洋学者で画家。蛮社の獄で捕えられ、自殺した。
- 97 海外事情の先駆者。「海国兵談」で、海防の必要を説く。
- 98 浮世絵画家。美人画にすぐれ「ビードロを吹く女」は有名。
- 99 こっけい本「東海道中膝栗毛」は代表作である。
- 100 読本作者。代表作に「南総里見八犬伝」「椿説弓張月」。

⑪ (101～110)

- 101 蘭学者で医者。シーボルトの弟子。蛮社の獄で罰せられる。
- 102 もと大阪町奉行所の与力。天保のききんの時、乱をおこす。
- 103 老中。1841年、天保の改革を行う。きびしすぎて不成功。
- 104 尊王論者。萩に松下村塾を開く。安政の大獄で処罰される。
- 105 大老。日米修好通商条約を結ぶ。安政の大獄を行ったが暗殺された。
- 106 土佐藩（高知県）出身。薩長同盟と大政奉還に力をつくす。
- 107 幕臣。江戸城を無血開城させる。咸臨丸で太平洋を横断。
- 108 江戸幕府15代将軍。前土佐藩主山内豊信の意見をいれて、大政奉還。
- 109 幕府の外交顧問。イギリス人で、日本名を三浦按針という。
- 110 1858年、初代駐日総領事として、日米修好通商条約を結ぶ。

⑫ (111～120)

- 111 西ドイツの医者。長崎に鳴滝塾を開いて、医学を教えた。
- 112 アメリカ合衆国の使節で、1853年に四せきの軍艦を率いて浦賀に来た。
- 113 公家で政治家。新政府成立のために中心的な役割をはたす。
- 114 薩摩藩出身。維新の三傑のひとり。富国強兵策をすすめる。
- 115 長州藩出身。維新の三傑のひとり。征韓論に反対する。
- 116 薩摩藩出身。維新の三傑のひとり。西南戦争で破れる。
- 117 「学問のすすめ」を著し、人間の平等と学問の大切さを説いた。
- 118 民選議院設立建白書を提出して自由民権運動を起し、自由党を結成した。
- 119 初代内閣総理大臣となり、大日本帝国憲法の草案をつくった。
- 120 国会議員で、足尾銅山鉍毒事件で公害に対する反対運動を起こした。

⑬ (121～130)

- 121 外務大臣としてポーツマス条約を結び、関税自主権の回復に成功した。
- 122 歌人で、日露戦争に反対して「君死にたまふなかれ」という詩を発表した。
- 123 作家で、「我輩は猫である」、「坊ちゃん」などの作品を著した。
- 124 大正デモクラシーの理論的な指導者で、「民本主義」を唱えた。
- 125 女子英学塾を開き、英語教育と女子の地位向上につとめる。
- 126 立憲改進黨を結成。条約改正につとめ、早稲田大学を設立。
- 127 外交官。1894年、治外法権を撤廃、条約改正に成功した。
- 128 政党政治家。普通選挙運動をすすめた”憲政の神様”。
- 129 海軍軍人。日露戦争の日本海海戦でロシア艦隊に大勝する。
- 130 作曲家。「荒城の月」「箱根山」「花」ほか名曲を残した。

⑭ (131～140)

- 131 日本細菌学の父。破傷風菌の純粋培養に世界で初めて成功。
- 132 細菌学者。赤痢菌を発見、昭和19年文化勲章を受けた。
- 133 軍医で作家。代表作「舞姫」「阿部一族」「高瀬舟」など。
- 134 歌人・詩人。代表作「一握の砂」「悲しき玩具」など。
- 135 日本の洋画発展の基を築いた。代表作「湖畔」「読書」。
- 136 米騒動でたおれた寺内内閣のあとに、日本初の本格的な政党内閣をつくった。
- 137 政党内閣を組織していたが、五・一五事件で暗殺された。
- 138 内閣総理大臣で、サンフランシスコ講和会議に全権として出席した。
- 139 明治・大正の政治家。2度の首相、パリ講和条約の全権。
- 140 小説家。代表作「羅生門」「鼻」「芋粥」「トロッコ」。

⑮ (141～150)

- 141 社会主義者。「平民新聞」を刊行。大逆事件で死罪となる。
- 142 明治～昭和期の詩人・小説家。「若菜集」「夜明け前」。
- 143 連合艦隊司令長官。1941年、ハワイの真珠湾を攻撃する。
- 144 1949年、日本人で初のノーベル賞（物理学賞）を受賞。
- 145 1968年、ノーベル文学賞を受賞。「伊豆の踊り子」「雪国」
- 146 1974年、ノーベル平和賞受賞。3回首相をつとめる。
- 147 アメリカの動物学者。大森貝塚を発見。
- 148 アメリカの教育者。”青年よ大志をいだけ”の言葉は有名。
- 149 アメリカ第28代大統領。国際連盟の発足につくす。
- 150 連合軍最高司令官。日本の民主化の占領政策をすすめた。